

お元気ですか

株式会社ダイニ商会

TEL 045-521-4786

新年あけましておめでとうございます。

代表取締役 灰谷大太郎

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げるとともに、本年が皆さまにとって素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

今年は法人に改組をしてから60年を迎える節目の年となります。

先代より「従業員の皆さまが気持ちよく働ける環境を整えることが、現場の品質と業績をあげる近道。」と、指導を受けて早30年が経ちますが、まだまだ理想の環境が整った訳ではございません。次世代に繋がるように今年も働きやすい環境作りと、「全員攻撃全員守備」を念頭に、業績を上げていく所存です。100期を迎えた時に、先達や今の努力が実っていることを切に願います。



あけましておめでとうございます。

営業一課係長 山崎学

昨年は新型コロナウイルスに翻弄された年になりました。我が社も、多くの感染者、濃厚接触者数が確認されましたが、現場の皆様や職員の方で業務不履行を起こすことなく乗り越えられました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今年も皆様にとって健康的な生活が送れるように祈念致します。

あけましておめでとうございます。

業務二課課長 羽山昌輝

年末の忙しい時期が過ぎて、少し一安心しております。これから高圧洗浄機の水が更に冷たくなり寒さが身に染みますが、日常清掃の皆様の元気な姿を励みに気持ちを暖かくして、業務に取り組んでいきたいと思っております。

落ちない汚れはいつでもご相談ください。

あけましておめでとうございます。

総務課課長 錦戸和彦

今年こそは災害の無い年にしたいと思っております。それには皆様のご協力が不可欠です。

災害はある日突然にやってきます、無理せず安全作業に徹してください。よろしく申し上げます。

今年は、汚れを取るより、汚されない心遣いを、そして安全第一推奨を

以前、戸数 120 戸ほどの中型のマンションにて、複数の居住者の方々の雑談中に、掃除について話を持っていくと、このような言葉を頂きました。

「いつもおじさん達が、綺麗に掃除してくれているから汚すにも汚せないよネ～」 「私達も協力してるよね～」と笑いながら自分たちの住むマンションの綺麗さを自慢していました。

後日、清掃業務担当の方に日々の清掃作業の方法をお聞きする機会がありました。

「簡単ですよ、汚れは、次の日に持ち越さない、あとは清潔な身なりで、はっきり挨拶を交わせば、お客さんからマンションを綺麗にしてくれますよ。人は綺麗なところは汚しませんから。」との答えが返ってきました。

居住者さんの「汚すに汚せない」という言葉が、清掃作業の基本だと考えられるエピソードです。

犯罪心理学の中に「割れ窓理論」というアメリカの犯罪学者が発案した理論があります。

これは、小さな一枚の窓ガラスが割れたとき、そのまま放置するとやがて他の窓もすべて割れていき、やがて廃墟のようになるという事です。

この理論をマンションの清掃に転化すると、誰かが汚した小さな汚れをそのまま放置していると、やがて他の人も汚してもいいものと思ひ、やがて汚れが蔓延した状態になるという事です。

マンションの清掃は「時間」と「場所」が限られています、建物は、周辺環境変化や居住者の家族構成、季節や天候など、日々の風雨の吹き様で汚れ場所も程度も変わります。

そのため、汚れの具合に合わせた建物全体の作業内容と、その建物に合わせた作業方法が必要です。

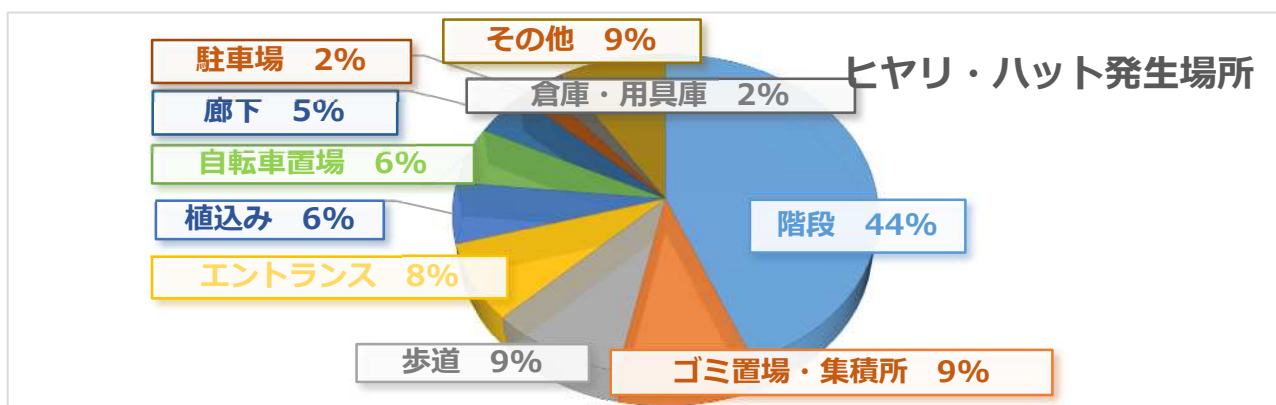
今年は、自分の担当している建物と作業内容を見直し、改善方法があれば会社に提案をしてみてください。

また、「割れ窓理論」のほかに、事故や災害についての「ハインリッヒの法則」という、「1 件の重大な事故や災害の裏には、29 件の小さな事故や災害があり、その裏には 300 件のヒヤリハットがある」という法則もあります。

2019 年に安全衛生委員会が行った調査（回答者 443 名）によると 49.1%の人が、この「ヒヤリハット」の経験をしています。つまり働いている人のほぼ半数の人が、何らかの形で事故直前の「ヒヤッ」としたり「ハッ」した経験を持っているということです。

その **危ない！** と感じた場所は、階段が 4 割以上、そしてゴミ置き場、歩道、エントランスと続きます。

職場の美化向上と共に、安全作業推進にも力を貸してください。今年もよろしくお願いします。



今年のスギ花粉予報

昨年のスギ花粉の飛散量は例年よりも少ないようでしたが、今年はどうでしょうか。

関東甲信越地方では、昨年に比べ 2.4 倍ほどの多さになる予想がされています。

花粉の飛散量は、前年の夏の気象条件により変わります。昨年の梅雨（6月）、太平洋側は降水量が少なく日照時間が多かったため、スギの花芽形成に好条件となり、花粉の量が増加しそうだとのこと。

花粉対策としては、外出中は口や鼻をマスクで保温保湿し、体内への花粉の侵入を防ぎ、外出先から帰った時は、玄関先で衣服についた花粉を払い、室内に花粉を入れないように心がけましょう。

花粉症への対策は、新型コロナウイルスの感染予防対策にも繋がります。こまめな手洗いとうがいを心がけ、顔や目、鼻を洗うのも有効です。

目が痒くてツライときは、清潔なタオルで冷たいおしぼりを作り、瞼の上に置くと、楽になりますよ。

花粉症予防に効果的な食べ物

花粉症には、腸内環境を整え免疫システムを正常にしてくれる働きのある、乳酸菌やビタミン D、食物繊維などを多く含んだ食品が効果的とされています。

例えば、乳酸菌を多く含む**ヨーグルト**、脂肪酸（DHA・EPA など）を多く含む**青魚**、花粉症アレルギーの抑制効果を持つバニリンを含む**梅干し**、食物繊維の多い**レンコン**や**ゴボウ**などです。

食べたらずいぐに効果が出たり、花粉症が治ったりというわけではありませんが、多少の改善が見込まれます。

あくまでも補助的な対処法ですが、毎日少しずつ継続して摂取すると、効果が期待できますよ。



うさぎ年の小咄

月には何故、ウサギがいるのでしょうか？

昔々、ウサギとキツネとサルに住むところに、貧しい身なりの老人が訪ねてきました。そして、その老人は「お腹が空いて死にそうです。何か食べ物をください」と頼みました。サルは木を上り木の実を取り、キツネは川で魚を捕まえて老人にあげましたが、何も取れなかったウサギは焚火に身を投じ、「私を食べてください」と言いました。

実は老人は姿を変えた帝釈天でした。帝釈天はそのウサギの心を受け取り、火傷を治して月に住ませ、餅をつかせて年の初めに人々に配らせたという昔話があります。

アジサイ寺で有名な**鎌倉の明月院**に、そのお話の詳細が記されています。初詣がてら、お出かけになってみてはいかがでしょうか。

また、ウサギとカメが競争し、独走状態になったウサギは油断してゴール前に昼寝をし、その隙に地道にゴールに向かっていたカメがゴールしてしまう。

実はこの有名なおとぎ話には、日本版と西洋版があるのはご存知でしたか？

日本版では、**油断大敵**の戒めを含めたお話ですが、西洋版は少し違います。

ウサギがカメに負けるのは同じですが、ウサギは自らの油断からではなく、カメの頭脳的な策略に嵌り、負けてしまいます。その後、仲間に馬鹿にされて心機一転したウサギは、狼に狙われた子ウサギたちを助けてヒーローになり、一方、競争に勝ったカメは、自分は何でもできると**慢心**し、自滅の道を進みます。

兎にも角にも、何事もウサギとカメのお話のように、油断と慢心は身を滅ぼします。

新年を迎えた1月。皆さんも身を引き締めて、安全で健康的な一年を過ごしましょう。



業務二課（定期清掃班）表彰授与

昨年 11 月、管理会社である株式会社東急コミュニティー様より、当社の業務二課が管轄する定期清掃が表彰されました。

皆さんが担ってくださっている日常清掃の一助となるよう、定期清掃は日々、様々な物件へ出向いています。皆さんとも現場でお会いすることがあるかと思えます。清掃方法は大きく違いますが、居住者様に清潔な生活の場を提供したいとの思いは同じ、仲間です。

ペンギンのマークの定期清掃班が皆さんの現場に訪れた際には、ぜひ挨拶を交わしていただけると嬉しいです。また、どうしても取れない汚れなどがあった場合は、彼らに相談してみるのも良いかもしれませんよ。



安全衛生委員会便り

あけましておめでとうございます。

昨年も大きな災害が数件発生してしまいました。多くが階段から下へ落ちる転落災害です。

安全パトロールで注意喚起しておりますが、階段では手すりをもって作業してください。また箒で掃き掃除をする際は同じ段に足をそろえないで上下にしてください。ご安全に！！



卯年でも跳ねないで！

今年は卯年。ウサギと言えば跳ぶ、跳ねるので、世間では「飛躍の年」として期待が持たれています。

しかし、私たちの職場では、「跳ぶ」と「跳ねる」は事故のもとです。

身体を動かすお仕事なので、健康自慢で元気な方がとても多いですが、それでも油断は禁物ですよ。

ウサギとカメのおとぎ話で、ヒーローとなったウサギのように、明るく元気なお姿で、颯爽とお掃除をして、居住者の皆様に好かれるヒーローとなりましょう。

慌てず急がず、落ち着いた仕事をお願いします。

今月の安全用語 **慣れたこと いつものことに 落とし穴 初心に戻る安全標語**

毎年 12 ヶ月間、この安全標語が掲載されています。繰り返し掲載されるのは、事故は作業が慣れたところに起きるからです。慣れと油断が事故を招きます。

年の始めに初心に戻り、謙虚な心で作業にあたってください。

これから、さらに寒さが厳しくなります。床面凍結による転倒事故や、寒さによる体調不良から事故が発生しやすいです。十分な注意をお願いします。

安全の基は心です マナーの基も心です 仕事の土台は無事故です